

物質循環型野菜生産技術の開発

研究代表者（所属）：北宅 善昭（大阪公大・研究推進機構）

食品残渣から再生した培養液を用いたレタス水耕栽培

○林 伯諺¹，中村 謙治¹，遠藤 良輔²，北宅 善昭³

所属： 1 エスペックミック株式会社， 2 大阪公大・農学研究科 3 大阪公大・研究推進機構

キーワード：食品残渣，化学肥料，植物工場，水耕栽培，レタス

要 旨

食品残渣はN, P, K等の植物栄養塩を豊富に含んでいることから、これを処理して培養液とすることで養液栽培に利用できる可能性がある。本研究では、食品残渣を微生物ならびに膜で処理して資源再生培養液を生成した。さらに、再生培養液単体や、これに不足栄養分を添加したもの、化学肥料（1/20AT A処方）と混合したもの等を用いてレタス栽培実験を行い、資源再生培養液の有用性について評価した。なお、レタスは2品種を用いて、品種間差についても検討した。